

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第5区分

【発行日】平成26年2月6日(2014.2.6)

【公表番号】特表2013-515174(P2013-515174A)

【公表日】平成25年5月2日(2013.5.2)

【年通号数】公開・登録公報2013-021

【出願番号】特願2012-544868(P2012-544868)

【国際特許分類】

D 04 H 1/435 (2012.01)

D 04 H 3/16 (2006.01)

D 04 H 1/4291 (2012.01)

【F I】

D 04 H 1/435

D 04 H 3/16

D 04 H 1/4291

【手続補正書】

【提出日】平成25年12月12日(2013.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

1つ以上の熱可塑性脂肪族ポリエステルと、

ウェブの0重量%超で、10重量%以下の量のポリプロピレンと、

ポリエステルの中に組み込まれた1つ以上のアルキル、アルケニル、アラルキル又はアルカリルのアニオン性界面活性剤と、

を含む複数の纖維を含む、不織布ウェブであって、前記ウェブは、前記ウェブが、無抑制条件で、前記纖維のガラス転移温度を超える温度まで加熱されたときに10%以下で減少する、前記ウェブの平面内の少なくとも1つの寸法を有する、不織布ウェブ。

【請求項2】

前記1つ以上のアニオン性界面活性剤が200未満の融点を有し、前記組成物の少なくとも0.25重量%で、8重量%以下の量で存在する、請求項1に記載の不織布ウェブ。

【請求項3】

ポリアルキレングリコール、多価アルコール、グリセリントリグリセリド(glycerin triglycerides)、クエン酸エステル、脂肪族ジエステル、及びこれらの組み合わせからなる群から選択される界面活性剤キャリアを更に含む、請求項1または2に記載の不織布ウェブ。

【請求項4】

1つ以上の熱可塑性脂肪族ポリエステルと、

ウェブの0重量%超で、10重量%以下の量のポリプロピレンと、

以下の構造：

(R-CO₂⁻)_nMⁿ⁺

を有する粘度調整剤と、を含む複数の微細纖維を含む不織布ウェブであって、式中、Rは分枝鎖若しくは直鎖炭素鎖としてのC8~C30のアルキル若しくはアルキレン、又はC12~C30アラルキルであり、場合により、エチレンオキシド、プロピレンオキシド

基、オリゴマー乳酸及び／又はグリコール酸、又はこれらの組み合わせなどの0～100個のアルキレンオキシド基で置換されてもよく、

Mは、H、アルカリ金属、アルカリ土類金属又はアンモニウム基、プロトン化三級アミン若しくは四級アミンであり、

nは1又は2であり、カチオンの価数に等しく、

前記ウェブは、前記ウェブが、無抑制条件で測定すると、前記繊維のガラス転移温度を超えるが融解温度よりも低い温度まで加熱されたときに10%以下で減少する、前記ウェブの平面内の少なくとも1つの寸法を有する、不織布ウェブ。

【請求項5】

前記粘度調整剤が、アルキルカルボキシレート、アルケニルカルボキシレート、アラルキルカルボキシレート、アルキルエトキシル化カルボキシレート、アラルキルエトキシル化カルボキシレート、アルキルラクチレート、アルケニルラクチレート、ステアロイルラクチレート、ステアレート、これらのカルボン酸、及びこれらの混合物からなる群から選択され、前記粘度調整剤がウェブの約10重量パーセント以下の量で存在する、請求項4に記載の不織布ウェブ。

【請求項6】

前記ウェブが生体適合性であり、抗微生物性成分を更に含む、請求項1～5のいずれか一項に記載の不織布ウェブ。